

2019年10月29日

各位

会社名 オムロン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 山田 義仁
 コード番号 6645
 上場取引所 東証第一部
 問合せ先 グローバル戦略本部長 日戸 興史
 T E L 075-344-7175

2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月25日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 継続事業 税引前 当期純利益 | 当社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益 |
|-----------------------------|----------|---------|----------------------|------------------------|-----------------------------|
| 前回発表予想(A) | 7,090 億円 | 575 億円 | 525 億円 | 425 億円 | 206 円 95 銭 |
| 今回修正予想(B) | 6,700 億円 | 450 億円 | 400 億円 | 660 億円 | 321 円 39 銭 |
| 増減額(B-A) | △390 億円 | △125 億円 | △125 億円 | +235 億円 | - |
| 増減率 (%) | △5.5% | △21.7% | △23.8% | +55.3% | - |
| (ご参考) 前期実績 (2019年3月期) | 7,326 億円 | 673 億円 | 659 億円 | 543 億円 | 260 円 78 銭 |

(注) 前期実績(2019年3月期)の売上高、営業利益および継続事業税引前当期純利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額に組み替えて表示しています。

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間において米中貿易摩擦の影響がグローバルの製造業に広がり、第3四半期以降もこの状況が継続すると認識しています。そのため、IAB（制御機器事業）やEMC（電子部品事業）などの売上高の減少を見込みます。また、本日付公表の「（開示事項の経過）当社連結子会社の異動（株式譲渡等）及び株式等譲渡による売却益の計上に関するお知らせ」の「4.株式等譲渡による売却益の計上」に記載のとおり、AEC（車載事業）の譲渡に伴う売却益を計上することで当社株主に帰属する当期純利益の増加を見込みます。これらの結果、通期業績予想を上記のとおり修正いたします。なお、第3四半期以降の前提為替レートは1米ドル105円、1ユーロ117円、1人民元14.7円です。

(注) 業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

以上